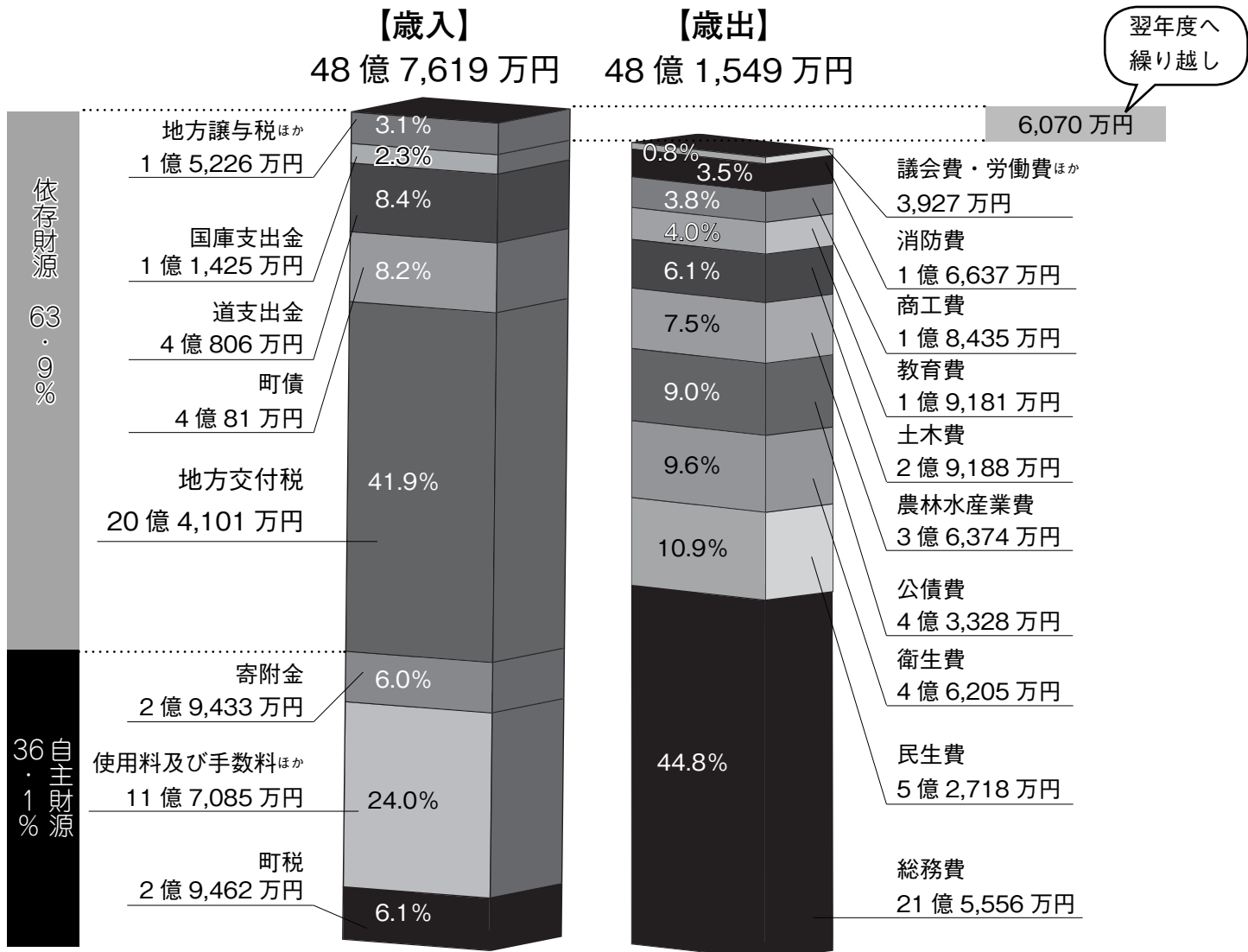


令和元年度の月形町各会計歳入歳出決算が、9月に行われた第3回町議会定例会で認定されましたので、お知らせします。

令和元年度 決算報告

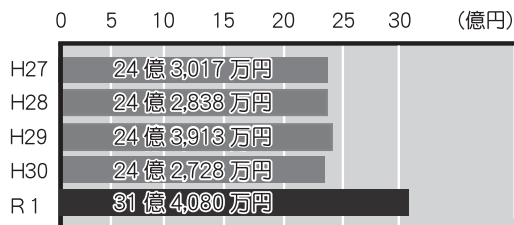
一般会計

教育や福祉、道路整備など町が行う行政運営の基本的な経費を扱う会計です。



基金(貯金)

計画的な財政運営のために積み立てるお金(町の貯金)

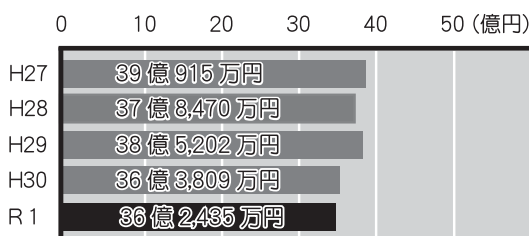


基金には、大幅に税収が減少した場合や災害など予定外の支出に備えるための「財政調整基金」や地方債の返済に備える「減債基金」、月形町ふるさと活性化基金など特定の目的を達成するために使用する「特定目的基金」などがあります。

令和元年度においてはJR北海道からの支援金を原資とした「札沼線代替輸送事業等基金」を創設したため、前年度から基金残高が増加しています。

地方債(借金)

公共事業を行うために借り入れるお金(町の借金)

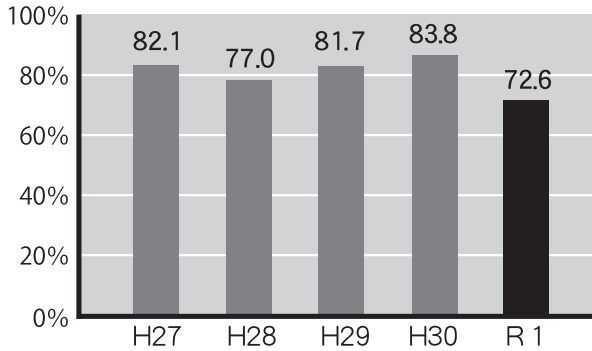


例えば、公共施設の整備には多額の費用が必要です。そのため、整備費用の一部を地方債(借金)で賄うことがあります。

こうして単年の負担を小さくし、何年にもわたって返済することで、施設を利用する全ての世代の方に整備費用を公平に負担してもらうことができます。

経常 収支比率

経常収支比率とは、使い道の決まっているお金（経常的経費）がどれだけあるかの割合です。



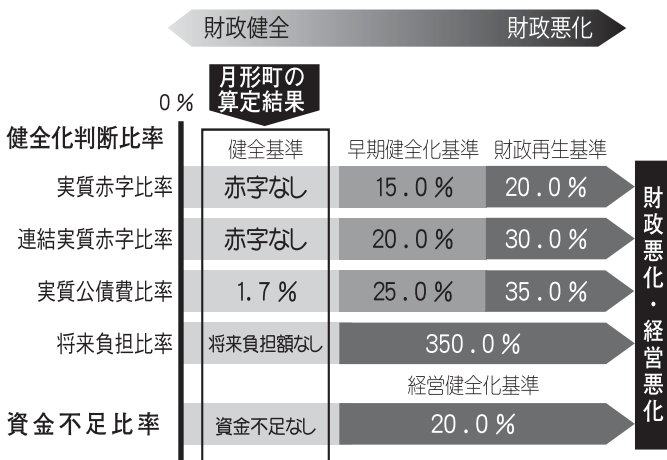
経常収支比率は比率が低くなるほど自由に使えるお金が増えるので、同比率が低い方が望ましいと言えます。

令和元年度は、昨年度に引き続き黒字決算を維持し、経常収支比率は前年度比で11.2ポイント減少の72.6%となりました。歳入に占める自主財源の割合は36.1%、地方交付税などの依存財源の割合は63.9%となっており、今後も健全な財政運営に努めていきます。

健全化判断比率 資金不足比率

財政の健全化判断比率と資金不足比率とは、地方公共団体の財政破たんを未然に防ぐために設けられた指標で、町の会計のほか、公立病院や下水道などの公営企業を含めた、まち全体の財政状況を明確にしたものです。

令和元年度決算を基に月形町の健全化判断比率と資金不足比率を算定した結果は左記の表のとおりとなり、どの指標も国の基準を下回り、本町の財政状況は健全な状態となっています。



- ◇実質赤字比率
一般会計および特別会計を対象とした赤字の割合
- ◇連結実質赤字比率
全ての会計も含めた赤字の割合
- ◇実質公債費比率
年間の借金返済額の割合
- ◇将来負担比率
借金の返済額や将来支払っていく負債（借金）の割合
- ◇資金不足比率
公営企業ごとの資金不足額の割合

月新水道企業団・月形町振興公社の決算報告

月新水道企業団上水道事業会計

●収益的収入および支出

【歳入】		【歳出】	
予算額	2億 1,312万円	予算額	1億 9,315万円
決算額	2億 1,200万円	決算額	1億 8,509万円

科目	収入額	科目	支出額
営業収益	1億 9,351	営業費用	1億 8,303
営業外収益	1,849	営業外費用	206
		特別損失	0

●資本的収入および支出

【歳入】		【歳出】	
予算額	2,871万円	予算額	1億 1,838万円
決算額	2,871万円	決算額	1億 1,838万円

科目	収入額	科目	支出額
負担金	2,871	建設改良費	1億 1,060
		企業債償還金	778

月形町振興公社

●収益的収入および支出

【歳入】		【歳出】	
予算額	2億 5,275万円	予算額	2億 4,619万円
決算額	2億 3,297万円	決算額	2億 3,080万円

科目	収入額	科目	支出額
事業収益	2億 2,952	事業費用	1億 8,921
事業外収益	345	売上原価	4,159



特別会計と企業会計の決算報告

国民健康保険事業特別会計

【歳入】	【歳出】
予算額 4億7,446万円	予算額 4億7,446万円
決算額 4億7,046万円	決算額 4億5,882万円

科目	収入額	科目	支出額
国民健康保険税	8,292	総務費	842
使用料及び手数料	1	保険給付費	2億7,679
国庫支出金	10	国民健康保険事業費納付金	1億2,642
道支出金	3億2,950	共同事業拠出金	1
財産収入	1	保健事業費	322
繰入金	3,359	基金積立金	1
繰越金	1,474	諸支出金	4,395
諸収入	959		

農業集落排水事業特別会計

【歳入】	【歳出】
予算額 8,580万円	予算額 8,580万円
決算額 8,454万円	決算額 8,390万円

科目	収入額	科目	支出額
使用料及び手数料	3,759	総務費	3,555
繰入金	4,344	農林水産業費	44
繰越金	9	公債費	4,791
諸収入	342		

後期高齢者医療特別会計

【歳入】	【歳出】
予算額 5,826万円	予算額 5,826万円
決算額 5,776万円	決算額 5,774万円

科目	収入額	科目	支出額
後期高齢者医療保険料	3,433	総務費	204
繰入金	2,333	後期高齢者医療広域連合納付金	5,563
繰越金	3	諸支出金	7
諸収入	7		

月形町には一般会計とは別に、特定事業を行うための独立した5つの会計があり、一般会計とともに9月の町議会定例会で認定されました。

各表【単位：万円】

介護保険事業特別会計

【歳入】	【歳出】
予算額 4億4,558万円	予算額 4億4,558万円
決算額 4億3,180万円	決算額 4億2,683万円

科目	収入額	科目	支出額
介護保険料	7,361	総務費	584
分担金及び負担金	97	保険給付費	3億7,762
国庫支出金	1億798	地域支援事業費	2,878
支払基金交付金	1億596	基金積立金	1
道支出金	6,850	諸支出金	1,458
財産収入	1		
繰入金	6,926		
繰越金	541		
諸収入	10		

町立病院事業会計

●収益的収入及び支出

【歳入】	【歳出】
予算額 5億6,890万円	予算額 5億6,890万円
決算額 5億6,666万円	決算額 5億5,653万円

科目	収入額	科目	支出額
医業収益	3億6,085	医業費用	5億4,995
医業外収益	2億581	医業外費用	658

●資本的収入及び支出

【歳入】	【歳出】
予算額 7,274万円	予算額 8,815万円
決算額 7,274万円	決算額 8,815万円

科目	収入額	科目	支出額
出資金	3,440	建設改良費	4,191
繰入金	3,834	企業債償還金	4,624

町職員の給与と職員数の状況

町民の生活に係るさまざまな仕事に携わっている職員の給与や職員数などは、条例で定められています。町の特別職、職員、議会議員の給与などについてお知らせします。

職員給与費の状況

令和2年度一般会計当初予算（千円）

予算計上職員数(A)	給与費				1人当たりの給与費(B/A)
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計(B)	
68	243,561 (62.6%)	45,395 (11.6%)	100,435 (25.8%)	389,391 (100.0%)	5,726

人件費の状況

令和元年度一般会計決算（千円）

歳出総額(A)	人件費(B)	人件費率(B/A)	平成30年度の人件費(率)
4,815,490	579,611	12.0%	595,833 (17.7%)

特別職・議員の給与

令和2年11月1日現在（円）

区分	給与費			
	町長	副町長	教育長	
月額	686,000	601,000	569,000	
区分	議長	副議長	常任委員長 議会運営委員長	議員
月額	282,000	228,000	205,000	187,000
期末手当	特別職 4.5 月分・議員 4.45 月分			

ラスパイレス指数の状況

国家公務員の給与水準を100としたときの水準

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
指数値	95.9	95.9	96.3	97.1	97.5

部門別職員の状況

各年4月1日現在の実人数（人）

区分 部門	職員数			対前年増減数		
	平成30年	平成31年	令和2年	平成30年	平成31年	令和2年
一般行政職	55	55	55	△1	—	—
教育委員会	7	7	7	—	—	—
町立病院	30	24	27	2	△6	3
特別会計	7	7	7	—	—	—
合計	99	93	96	1	△6	3

一般行政職の初任給

令和2年4月1日現在（円）

区分	月形町	北海道	国家公務員
大学卒	182,200	182,200	182,200
高校卒	150,600	150,600	150,600

経験年数別・学歴別平均給料月額

令和2年4月1日現在（円）

区分	経験年数別平均給料月額				平均給料月額	平均年齢 歳月	
	10年以上・15年未満	15年以上・20年未満	20年以上・25年未満	25年以上			
一般行政職	大学卒	255,000	328,567	351,950	388,200	274,961	36歳0月
	短大卒	—	—	—	387,100	293,500	40歳0月
	高校卒	—	263,300	321,080	375,533	305,477	40歳1月

期末・勤勉手当の状況

令和2年11月1日現在

区分	期末・勤勉手当
町	4.5 月
国	4.5 月